



# みつくうら



## 《 北米産大豆 》

### 16/17年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省がこのほど発表した、16/17年度の世界大豆生産・需給予測によれば、米国が減産となった一方で、ブラジル、アルゼンチン、中国、インドでの増産を反映し、生産量は前年度比3.3%増の3億2,370万トンとなりました。

生産高は増加見通しながら前年度に比べて期初在庫が減少することに加え、需要・輸出共に堅調なことから、期末在庫は前年度比8.3%減の6,631万トンを見込んでいます。

また、同日発表された16/17年度の米国大豆生産・需給予測によれば、作付面積・単収・生産量は据え置かれましたが、期初在庫の減少により、総供給量は前年比0.7%程下方修正されました。さらに総需要量は搾油・輸出の増加により前年比0.4%増加したため、期末在庫が減少し、在庫率も前回の7.8%から6.6%に低下しました。

### 16/17年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	3億2,370万t	(対前年比 3.3%増)
消費量	3億2,799万t	(対前年比 3.1%増)
期末在庫量	6,631万t	(対前年比 8.3%減)
期末在庫率	20.2%	(対前年度差 2.5ポイント減)

### 16/17年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	1億0,342万t	(対前年比 3.3%減)
消費量	5,553万t	(対前年比 1.0%増)
輸出品	5,171万t	(対前年比 8.0%増)
期末在庫量	706万t	(対前年比 29.9%減)
期末在庫率	6.6%	(対前年度差 3.2ポイント減)



### 16年産カナダ産大豆作付は4%減見通し、マニトバで増加もオンタリオで減

カナダ農務・農産食品省がこのほどまとめた、同国の穀物・油糧種子レポートによれば、16年産大豆の作付面積は4%減の215万haと予測しています。マニトバ州では土壤水分が過剰な状態にありますが、作付は10%拡大する見通しとなっています。一方でオンタリオ州は冬小麦にシフトした関係で、作付は減少すると予想しています。生産高は平年単収を当てはめた場合、14%減の535万tとかなりの減産見通しとなっており、このため輸出・国内需要も減少、期末在庫は30万tを見込んでいます。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



## 米国大豆作付率、発芽率ともに平年を上回る、作柄状況も良好

米農務省が6日に発表した、6月5日現在の米国大豆作付率は、主要18州平均で83%（前週73%、前年77%、平年77%）と平年を6ポイント上回って進捗しています。

同日現在の米国大豆発芽率は65%（前週45%、前年60%、平年57%）と平年を8ポイント上回っています。

また米国大豆作柄状況は、主要18州平均で普通24%（前週なし、前年26%）、良好62%（前週なし、前年58%）、優良10%（前週なし、前年11%）となっており、良・優合わせて72%と良好です。

## 《 国産大豆 》

### ○平成27年産国産大豆入札情報

平成27年産国産大豆の5月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数量8,210トンで、落札数量が5,641トン、落札率が69%という結果となりました。4月と比較すると、平均落札価格は、60kg/336円の値下がりとなりました。

普通大豆の銘柄別では、九州産フクユタカは福岡、佐賀では前月から下がりましたが、大分では1万5,060円と高値になりました。落札率の低下に伴い、落札価格も北海道・東北・東海など全国的に値を下げており、入札最終盤である6月の動きが注目されています。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
15年11月	1,503 t	1,503 t	100%
12月	3,511 t	3,095 t	88%
16年 1月	8,865 t	7,119 t	80%
2月	8,872 t	6,916 t	78%
3月	8,341 t	6,439 t	77%
4月	8,528 t	6,366 t	75%
5月	8,210 t	5,641 t	69%
合計	47,830 t	37,079 t	77.5%

### 28年産国産大豆、北海道を中心に増加見込み

J A全農はこのほど、3月末時点現在の28年産大豆の作付意向面積を発表し、27年産の作付面積から約5,200ha増の12万1,100haの作付が見込まれるとしています。特に前年からの伸びが大きいのは北海道で小豆からの転換により約3,700haの増加を見込んでいます。最終的な数字は7月に開催予定の「国産大豆に関する情報交換会」にて発表される見込みです。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>